

桐生市立商業高等学校 学校評価一覧表② (平成29年度版)

(様式2)

羅 針 盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校が好きだと感じている生徒の割合が80%以上である。	B	B	B	・学校の教育活動全体を通して、一人ひとりの生徒が近い将来社会人として身につけておくべきルール、マナーを教職員全員の力を結集して粘り強く指導したい。	・定時制の生徒一人ひとりに寄り添い、生徒と教員間、生徒同士間に信頼関係が構築される指導を継続してもらいたい。	・具体的数値項目①、②について達成感がAになるよう引き続きあらゆる場面、あらゆる機会に全職員に声かけを行う。
		②球技大会や地区体育大会などの特色ある学校行事に生徒の80%以上が満足している。	A	A	A			
		③総合的な学習の時間(ふれあいの時間)を主体的に取り組んだと自己評価している生徒の割合が80%以上である。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④授業に対する生徒の評価を実施して、授業改善を推進する。「授業が分かりやすい」と回答する生徒の割合が80%以上である。	A	A	A	・商業科に学ぶ生徒として、その専門知識の習得とそれをふまえた各種検定試験に合格できる力を養成し、一人ひとりの生徒が自信をもって進級、卒業できるよう繰り返し指導したい。 ・各教科・科目の単位を修得するためには、まずは地道に履修することの重要性を生徒保護者に周知徹底させたい。	・定時制の生徒として資格取得等の具体的な目標に向かって努力することの大切さを引き続き指導してもらいたい。	・授業等を通じて、生徒一人ひとりに検定試験合格という具体的な目標を設定させる。 ・授業中はもとより定期テストや検定試験の前にも生徒が自分で学習できる教材等の環境を整える。
		⑤簿記や情報など資格取得に向けた指導に生徒の80%以上が満足している。	A	A	A			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥定期テストや検定試験のための学習をする生徒の割合が70%以上である。	A	A	A			
		⑦成績不振科目のある生徒の割合が10%未満である。	B	A	B			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧職員打合せにおいて、生徒に関する情報交換を毎日実施している。	A	A	A	・毎日の職員打合せにおいて、生徒に関する情報交換を必ず行っている。生徒一人ひとりを大切にし、その生徒にとって必要な声かけを全職員で実施している。 ・「教育相談・いじめアンケート」や個人面談等を定期的実施し、その結果を全職員で共有する。その上でいじめと思われるようなことがあれば、いじめ防止委員会が迅速に対処する。	・大きな声で元気よくあいさつができる定時制生徒を育成してもらいたい。 ・定時制においてもいじめの発生防止と学校内外での事故防止につとめてもらいたい。 ・できるだけ欠席せず、卒業を目指して学校を続けていく定時制生徒を育成してもらいたい。	・引き続き日々の職員打合せの際に特に生徒に関する情報の共有に努める。 ・全職員の力を結集して、いじめの未然防止と早期発見・解決に努める。 ・卒業を目標に4年間及び卒業後を見据えた生徒指導・学習指導を継続する。
		⑨学校の生活指導(あいさつ、頭髪・服装、遅刻・早退指導)が適切であると回答する生徒・保護者の割合が90%以上である。	A	A	A			
		⑩いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	B	B	B			
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑪欠席率が10%以下、遅刻率が10%以下である。	A	A	A			
		⑫友好関係がうまくいっていると感じている生徒の割合が70%以上である。	A	A	A			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	⑬適性や希望などを生かした計画的な進路指導を行っている回答する生徒の割合が70%以上である。	A	A	A	・1年次からキャリア教育を推進している。今年度は、早い段階から進路選択を意識させるため、5回の進路ガイダンスにおいて、面接指導やグループワークなど実施した。次年度は各学年との情報交換を密に図り、指導の継続と、年間を通して計画的かつ組織的な体制で臨みたい。	・定時制生徒一人ひとりに対して適切な進路情報等を発信してもらいたい。 ・本校定時制卒業後も時々様子を見てもらいたい。	・生徒面談、保護者面談を通じて生徒一人ひとりの適性や希望を把握し、適切な進路指導を実践する。 ・進路実現に向け、計画の改善や環境作りに励み、生徒の意識を高める指導を実践する。
	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑭進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒の割合が70%以上である。	B	B	B			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑮保護者面談等に積極的に参加している保護者の割合が70%以上である。 ⑯Webページを学期に50回以上更新している。	A A	A A	A A	・1学期に全保護者を対象に保護者面談を実施した。その後も随時実施している。引き続き保護者との信頼関係づくりを推進したい。	・最新の情報提供を継続してもらいたい。	・生徒が毎日「定時制ブログ」を閲覧するよう指導を継続する。